

備後護国神社能舞台 改修記念行事

令和7年11月2日(日)

備後護国神社 福山市丸之内一丁目 9-2

13:00 神 事 社 殿

(移動)

13:30 神 事 ご挨拶 能舞台

奉 納 番 組

素謡「翁」 仕舞「高砂」

素謡「福山」 仕舞「福山」

奉納出演：大島衣恵 大島文恵 福山喜多会会員

主催：福山喜多会

共催：備後護国神社能舞台再建事業推進会

福山自動車時計博物館

後援：福山市 福山文化連盟

お問合せ：備後護国神社 福山市丸之内一丁目 9-2

TEL084-922-1180

喜多流大島能楽堂 福山市光南町 2-2-2

TEL084-923-2633

備後護国神社の由緒

1957（昭和32）年3月11日、「備後神社」と「阿部神社」を合併し、「備後護国神社」として設立。

御祭神は国家公共につくし殉じられた備後六市八郡内の御英霊31450柱（2018年現在）と大彦命を主神とした阿部神社の御英霊とを併せて奉斎。

境内地及び社殿の大部分は阿部神社より無償提供。

1959（昭和34）年7月1日、神社本庁より別表神社加列の指定を受ける。

元備後神社

1868（明治元）年、旧福山藩主阿部正桓公により設立。

防長の役、石見国益田の戦及び渡島国（北海道）函館の戦に戦死した40柱の英霊を祀ったのが始まり。

その後、佐賀、台湾、西南の役、日清、北清、日露、日独の戦、満州、上海、日華事変、及び大東亜戦争に至るまで国家公共のために殉じられた御英霊を奉斎。

最初は深津郡木ノ庄村、吉津村入会の地（現福山八幡宮境内）に建立して「新宮」と称した。

1893（明治26）年7月、福山公園地（現福山城跡）に移転。

1901（明治34）年7月、「官祭福山招魂社」と改称。

1939（昭和14）年3月、招魂社制度改正。

広島県には特に2社を認定。

備後国3市8郡（福山市、尾道市、三原市、深安郡、沼隈郡、芦品郡、御調郡、世羅郡、甲奴郡、神石郡、比婆郡）を崇敬区域すなわち祭神合祀範囲としての内務省令により、「福山護国神社」と改称して指定を受ける。

引き続き、福山市沖野上町地先に芦田川廃川地2万坪を得て大規模の神域と荘厳な社殿の完成を見んとした矢先に空襲による戦災を受ける。

1945（昭和20）年8月8日、石鳥居2基、神橋1基を残し一切を烏有に帰した。

戦後、宗教法人令の施行に伴い、占領軍の指示に従い「備後神社」と改称し、城跡にそのまま存置してあったものを「阿部神社」と合併した。